

AYA世代がん患者支援チームより

こんにちは！AYA世代がん患者支援チームです。
昨年秋より活動開始、今年度はより積極的に！
4月からのチーム活動をご報告します！

何してるの？

その1 患者カンファレンス

月2回カンファレンスを開催しています。

15～39歳の新患から支援対象となる患者さんをピックアップして担当医に支援の場に繋いでいただくようにメールでご連絡しています。

その2 部会活動

『AYA世代がん患者支援部会』として、患者支援体制作りについて協議検討しています。現在は、妊孕性温存医療の病院情報整備と支援のための冊子などのツールの整備に着手しています。

患者データ

昨年度、がんセンターでは115人のAYA世代患者さんががんと診断を受けています。

これは、全患者数4,055人の2.8%に当たります。

今年度6月までの間、23人ががんと診断されており、

そのうちチーム支援に繋がったのは10人・43.5%です。

より多くの患者さんに必要な情報提供や支援をするために、皆さまのご協力をお願いいたします。

おしらせ

8月9日（日）BS1 22時からNHK・BS1スペシャル

『乳がんダイアリー 矢方美紀 2020～夢をあきらめない～』が放送されます。SKE48の元メンバーでタレントの矢方美紀さんが、乳がんの告知を受け左胸を全摘出する手術を受けた直後から、インターネット上で公開してきた映像日記「#乳がんダイアリー 矢方美紀」の2年間を見つめるドキュメンタリー。

手術後の治療や日々の思いを“自撮り”で伝え、「胸を再建しない理由」や「がんの治療と妊娠」などデリケートなテーマも“自分の言葉”で率直に語っています。

AYA世代患者さんの治療生活の実際や考えていることなどを知る良い機会になると思います。



25歳女性 乳がんの患者さん 治療の話を受けての面談です

心配はお金と仕事のこと。
まだ収入や貯えが少ないし、重いものを持つ仕事を
担当する日もあるので・・・



お金は私たちも助けてあげられるけど、抗がん剤で将来子どもが
出来にくくなるんじゃないかと心配です。できることがあるならして
おいたほうがいいんじゃないかと思って。



治療費は高額療養費制度を利用して、1か月でこのくらいの金額になります。
手術後の治療によってかかる費用は変わるので決まったら具体的な金額をお示し
できますから、また相談しましょう。

仕事の内容を担当医に相談し、調整が必要かどうかを確認していきましょう。
同じ病気を経験した方の話はとても参考になりますから、患者さん同士の交流の場
をご紹介しますね。



抗がん剤の薬の中には、妊娠する力に影響するものもあります。受ける治療がそれ
に当てはまるかを確認すること。必要ならば、がんの治療とのタイミングを計りな
がら、妊娠する力を温存するための医療を受けることができます。
その時は、患者さん自身が良く考えて臨むことが大切です。

がん相談支援
センター



AYA支援チーム
カンファレンス

患者さんご家族の心配事が違うことで
すれ違いや衝突が起こるかも・・・
患者さんの意思の尊重が大切なことを折
に触れて伝えていきましょう

ご依頼・お問合せは、がん相談支援センター（内線：2526）まで



チームメンバー

リーダー 乳腺外科部長山本、整形外科部長・米本、
腫瘍血液内科・佐藤、患者総合支援センター丹内師長
乳がん認定・西看護師、東4階病棟・木村看護師、
がん相談支援センターMSW市原・中村看護師